

しろいし

平成 27 年 1 月 21 日
第 41 号
白石町学校運営支援室

12月26日に差額支給がありました。実に7年ぶりの月例給、期末・勤勉手当の引き上げでした。

【 給与改定の内容 】

◎給料表…民間給与が県職員給与を上回ったため月例給を引き上げ (H26.4.1 実施)

ただし、国の給与制度の総合的見直しを参考にして世代間の給与配分の観点から給料表の見直しを実施する (H27.4.1 実施)

◎期末・勤勉手当…民間の支給割合に見合うように年間 3.95 月分を年間 4.10 月分に引き上げ (H26.4.1 実施)

◎単身赴任手当…基礎額を月額 30,000 円に引き上げ、距離区分による加算の限度額を月額 70,000 円に引き上げ (H27.4.1 実施)

◎管理職特別勤務手当…災害への対処その他の臨時又は緊急の必要により平日の午前 0 時以降の深夜に勤務した場合 6,000 円以内を支給 (H27.4.1 実施)

◎教員特殊業務手当の引き上げ (H27.1.1 実施)

1号業務(ア)非常時の生徒の保護、防災・復旧業務	6,400 円	⇒	8,000 円
(イ)救急業務	6,000 円	⇒	7,500 円
(ウ)緊急補導業務	6,000 円	⇒	7,500 円
2号業務 修学旅行引率指導業務	3,400 円	⇒	4,250 円
3号業務 対外運動競技等引率業務	3,400 円	⇒	4,250 円
4号業務 部活動指導業務 (3時間30分以上)	2,400 円	⇒	3,000 円
(2時間以上)	1,200 円	⇒	1,500 円

給与改定実施

◎給料の調整額の引き下げ (H27.1.1 実施)

調整数の引き下げ 1.25 (現行) ⇒ 1 (改正後) ※特別支援学級担当教諭が支給対象

今年度のミニコーナーは「白石町の学校で良かった～」という内容でお伝えします。白石町内事務職員が佐賀県内の様々な学校を勤務してきて、ここは他の学校と違う！ここはぜひともアピールしてみたい部分を記事にします！ぜひご覧ください☆≪白石中 1名/2名≫
まずは、1人目の主事をここで紹介します。

白石中学校に帰ってきて、もうすぐ1年が経過しようとしています。

昨年度まで県立高校で2年間勤務しました。1年目には歳入全般・保護者納付金などをしておりまして。最初は慣れない業務で不安いっぱいでしたが、周囲の先輩方に助けていただきながら無事2年間を過ごすことが出来ました。今考えれば貴重な体験をさせて頂いたと思っております。

白石中学校へ帰ってきて日々感じていること事は、自然豊かなこの土地でのびのびと成長している生徒さんを間近で見ることで、自分自身が元気を頂いているということです。この白石中学校に再び勤務できることに感謝しつつ、楽しんで頑張っていきたいと思っております！

☆白石中 松本☆



「写真」白石中の K 先生よりいただきました！キレイですね☆



*** 預かり金について ***

楽しい冬休みはあっという間に終わり、1月も下旬となりました。

預かり金については、そろそろ会計をやる準備を行います。つきましては、先生方に以下の点について、再度チェックをお願いしたいと思います。

- ★ 4月からの集金状況の把握（未納になったままのご家庭はないですか？）
- ★ 2学期までの教材等は全て納品され、請求漏れはないですか？（きちんと支払いまで終わっていますか？）
- ★ 立替えで支払った分のレシートなどを持ったままにいませんか？
- ★ 年度末までに必要な教材についての発注は終わっていますか？
- ★ 多くの学校では2月は集金の調整月です。具体的な教材等の購入計画が立ったら、速やかに調整月の集金額を事務職員にお知らせください。

3学期は事務職員にとっても大変多忙な時期となります。各学年の会計がスムーズに執行できるよう、また早めにやることができるよう今後ともご協力をお願いいたします。

【集金台帳や会計出納簿などはこまめにチェックを！事務職員は、あくまで会計の事務的なお手伝いをしているだけであり、物品の購入や収支等についての説明責任は先生方にあるということをお忘れなく・・・】



今年度のミニコーナーは「白石町の学校で良かった～」という内容でお伝えします。白石町内事務職員が佐賀県内の様々な学校を勤務してきて、ここは他の学校と違う！ここはぜひともアピールしてみたい部分を記事にします！ぜひご覧ください☆《白石中 2名/2名》
[白石中学校の事務長、そして白石町内事務職員1.2名を取りまとめてくださっている室長をご紹介します。](#)

私は生まれも育ちも白石で、小中学生の頃は学年に関係なく地区の子どもたちと一緒に、西は須古の山、東は有明海の干潟まで、町中を自転車をこいで遊び回っていました。

山では、カブトムシを取るため森の奥まで入ってハゼノキに体中がかぶれたり、秘密基地を作ろうと（なぜか男の子は秘密の基地が好きですねえ）横穴を掘っていたら、泥が崩れてあやうく生き埋めになりかけたりもしました。

有明海では、この寒い時期には堤防端にこびりついているセッカ（牡蠣）を石でたたいて取って遊んでいました。しかもただ取るだけでなく、石を積み上げその上に鉄板の代わりに捨ててあったタイヤのホイールキャップを置いて釜戸を作り、枯草や枝木を燃やして採れたてのセッカを焼いて、みんなでおやつ代わりに食べていました。

TVゲームも携帯端末も無かったあの時代、友達と外に出て自然の中でおもいっきり遊んでいました。

今でも白石町の自然は、その頃とそんなに大きく変わったとは思えません。子どもたちにもこの豊かな自然の恵みを思う存分味わい、健やかに育って白石町を担う若者になってほしいと思います。

☆白石中 白武☆



すごい！牡蠣がおやつ
なんてうらやましい♪



★共同実施だより『しろいし』は Web でもご覧になれます。

<http://shiroishijimu.blog17.fc2.com/>

↑たくさんの方のアクセスお待ちしております。

携帯でもご覧になれます。

バーコードリーダー機能を使って
読み込んで下さい。

